

修士論文(要旨)  
2013年1月

タイの中等教育後期課程における日本語学習体験が文化認識に与える影響  
－卒業生へのインタビューから見るタイ・日文化認識とその背景－

指導 齋藤伸子 教授

言語教育研究科  
日本語教育専攻  
211J3002  
内田陽子

## 目次

<b>第1章 はじめに</b> .....	1
1.1 研究背景.....	1
1.2 研究目的.....	2
<b>第2章 タイの中等教育機関における日本語教育</b> .....	3
2.1 中等教育機関における日本語教育普及.....	3
2.2 タイ中等教育機関における日本語教育の位置づけ.....	3
2.3 他国の初等・中等教育段階日本語教育の理念との比較.....	4
<b>第3章 先行研究</b> .....	6
3.1 文化についての論考.....	6
3.2 日本語教育における文化の取り扱いについての論考.....	6
3.3 日本語教育における文化の取り扱いに関する調査.....	7
3.4 タイ中等教育機関における文化の取り扱いに関する調査.....	8
3.5 文化認識に関する調査.....	9
<b>第4章 予備調査</b> .....	11
4.1 予備調査の目的と位置づけ.....	11
4.2 調査概要.....	11
4.3 分析結果.....	11
4.4 調査課題.....	15
<b>第5章 本調査概要</b> .....	16
5.1 本調査の目的と位置づけ.....	16
5.2 日本語学習経験者に対する調査.....	16
5.3 教師に対する調査.....	17
<b>第6章 分析結果</b> .....	19
6.1 日本語学習経験者.....	19
6.2 日本語授業の中での文化の取り扱い.....	50
<b>第7章 総合的考察</b> .....	63
7.1 考察1.....	63
7.2 考察2.....	65
7.3 考察3.....	67
7.4 タイの中等教育機関における日本語教育への提言.....	71
<b>第8章 本調査の限界と課題</b> .....	72
<b>第9章 まとめと今後の課題</b> .....	73

参考文献・参考ウェブサイト・参考教材

資料

## 要 旨

本研究は、北部タイの中等教育後期課程(高校に相当)で日本語学習体験者に注目し、日本およびタイ文化に対してどのような認識を持っているのか、そしてその認識を形成した背景を調査し、日本語学習体験が与える影響を考察したものである。

稿者は、北部タイ中等教育機関の日本語教育に携わる機会があり、高校の日本語専攻コースで日本語を学ぶ学生と関わるが多かった。そして、彼らにとって、高校時代の3年間という貴重な時間を日本語学習に割く、その意義は何なのだろうかと常々感じていた。矢部(2001)は、海外の初等・中等教育での日本語教育には、大学・成人を対象としたものや日本国内におけるものとは異なる側面があると述べ、その側面として異文化接触、異文化態度の育成を挙げている。海外の年少者日本語教育における文化の取り扱いに焦点をあてた調査には、李(2003)、鈴木(2003)があるが、日本語教員の「文化の学習観」を調査するにとどまっている。学習者の文化認識を確認することで、文化の取り扱いに一つの観点がもたらせるのではないだろうか。

そこで本研究では、タイの中等教育機関後期課程での日本語学習経験者の日本およびタイ文化認識とその背景を質問紙とインタビューによって調査した。日本語学習経験者の語りから、彼らが「何」を「どのように」認識しているのか、またその「リソース」を探ることにより日本語学習体験の影響を考察した。また、日本語学習の背景を知るために日本語教師の文化の取り扱いについても調査を行い、日本語学習経験者の日本およびタイ文化認識との対照を行った。

その結果、日本語学習経験者の日本文化認識は「伝統文化」「精神文化」「生活文化」「大衆文化」「日本社会」「タイ日関係」にわたっており、認識の仕方に共通点が見られた。「伝統文化」については、体験の印象が強く、日本文化への興味をもたらしている。また、日本文化の独自性と同時にタイ文化の独自性も感じているが、タイに比べ日本は文化を保持しているという認識が見られる。「精神文化」については、時間を守る、秩序・規律正しさといった日本人・日本社会イメージがあり、タイ人及びタイ社会と対比して、日本は肯定的に、タイは否定的に認識される傾向がある。「生活文化」については、料理体験の印象が強く、料理そのものや生活文化の差異に日本への興味関心を抱いており、自らの生活習慣と対比して認識している。

これらの日本文化認識の特徴としては、日本に対して(1)メディア等を通じて肯定的な認識を持っており、日本語学習の中で否定的な側面に触れても認識は変わらないこと、また(2)メディアによりある程度一般化された認識を持っており、日本語学習はそれを維持・拡大していること、(3)日本語学習体験の中からも日本についての認識一般化が行われていることが挙げられる。

タイ文化認識の特徴としては、伝統文化の「文化保持」、精神文化の「時間を守る」「規律・秩序正しさ」に関して否定的に認識される傾向があり、その背景として日本の経済的発展、生活環境が変わりつつあるタイの状況が背景にあると考察した。

日本語学習の影響としては、日本語学習の際の文化体験が肯定的印象をもたらしていること、日本語学習はメディア等で生成された日本文化認識を大きく変更する力はないが、その認識の具体化をもたらすことがわかった。一方で、日本語学習の中で日本に対する認識の一般化が問題になることがなくそれを維持・拡大していること、タイ文化は日本文化の背景として扱われていることを見た。また、学習者は日本語教師の教示や、メディアで伝えられている日本文化情報(明示的意味情報)を、主体的に取舍選択して自らの「意味空間」に取り込んでおり、同時に文化的意味づけ処理(暗示的意味情報処理)を行っていることを仮説として示した。

最後に稿者の問題意識に基づき、タイの中等教育機関における日本語教育の提言を行った。

## 参考文献・参考ウェブサイト

- 李 炫姪(2003)「韓国の年少者日本語教育に見られる『文化』概念」『21 世紀の『日本事情』編集委員会編『21 世紀の『日本事情』第 5 号,くろしお出版,pp.130-139
- 呉 正培(2008)「日本語学習者の日本人イメージにみられる特徴とその形成要因—韓国の大学における学習者と非学習者の比較—」『世界の日本語教育』第18号,国際交流基金 日本語国際センター,pp.35-55
- 加賀美常美代・守谷智美・楊 孟勲・堀切友紀子(2009)「台湾の小学生・中学生・高校生・大学生の日本イメージの形成—9 分割統合法による分析—」『台湾日本語文學報』26 号,台湾日本語文学会,pp.258-308
- 久保田竜子(2008)「日本文化を批判的に教える」佐藤慎司・ドーア根理子(編)『文化, ことば, 教育—日本語/日本の教育の「標準」を越えて』明石書店, pp.151-173
- 国際交流基金(2009)『海外の日本語教育の現状 日本語教育機関調査・2009 年 概要』
- 佐々木倫子(2002)「日本語教育で重視される文化概念」細川英雄編『ことばと文化を結ぶ日本語教育』凡人社,pp.218-234
- 鈴木京子(2003)「オーストラリアにおける日本語教育の『文化の学習』観に関する一考察」21 世紀の『日本事情』編集委員会編『21 世紀の『日本事情』第 5 号,くろしお出版,pp.140-148
- タイ教育省(森下稔・鈴木康郎・カンピラパーブスネット訳)(2004)『タイ 仏暦 2544(2001)年基礎教育カリキュラム』
- 張 勇(2011)「第 2 言語学習による異文化態度の変容に関する研究概観」『第二言語としての日本語の習得研究』第 14 号,第二言語習得研究会,pp.116-133
- 野畑理佳・ウィパー ガムチャントコーン(2006)「タイにおける中等学校日本語教員養成講座の概要と追跡調査報告—タイ後期中等教育における日本語クラスの現状—」『世界の日本語教育』第16号,国際交流基金 日本語国際センター, pp.169-187
- 原田明子(2004)「言語政策から見たタイの日本語教育」『留学生教育』第 9 号,留学生教育学会,pp.199-205
- 船山久美(2004)「海外中等教育段階日本語教育の理念と目標について—シラバス・ガイドラインの考察より—」『小出記念日本語教育研究会論文集』第 12 号,pp.25-38
- 古川和人・湯山佳代(1999)「後期中等日本語教育の量的拡大に関する事例研究—タイ王国における経済・社会的背景との関連性についての—考察」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第 5 号,国際交流基金 日本語国際センター,pp.203-215
- 細川英雄(2007)「日本語教育における『学習者主体』と『文化リテラシー』形成の意味」佐々木倫子他 編『変貌する言語教育—多言語・多文化社会のリテラシーズとは何か』くろしお出版,pp.27-46
- 箕浦康子(2003)『子供の異文化体験 増補改訂版』新思索社
- 矢部まゆみ(2001)「海外の初中等教育における日本語教育とく文化リテラシー」『21 世紀の『日本事情』編集委員会編『21 世紀の『日本事情』第 3 号,くろしお出版,pp.16-29
- Prapa Sangthongsuk・八田 直美(2005)「文化リテラシーを身に付けるための授業設計のストラテジーと『あきこと友だち』」国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要第 4 号,バンコク日本文化センター,pp.171-176
- 国際交流基金 日本語教育国別情報 タイ(最終検索 2012/12/28)
- <http://www.jpff.go.jp/j/japanese/survey/country/2011/thailand.html>